

証拠書類

甲 2

2010年9月7日

シンガポールの投資に関する経緯と説明内容

原田勝美の紹介を受けたのは、2006年12月に当時株式会社マリアロサに勤務していた吉田泰弘氏だった。

「MACアセットマネジメント、村上ファンドで有名な村上世彰氏の片腕と言われる原田勝美という人物がおり海外のタックスヘイヴンの国に会社を作りそこで資金を運用すれば相当な配当を受け取ることが出来る。村上世彰氏はそれで相当な利益を出し財をなした。原田勝美を紹介するから具体的な話を聞いてみないか」と言う説明だった。私は、村上世彰氏の片腕でありそのノウハウも知りたかったので軽い気持ちで原田勝美に会うことにしました。

2007年1月9日に原田勝美が勤務しているセブンシーズアセットマネジメント株式会社に紹介者2名と私と同じように説明を聞きたいと言う人が2名同席しました。話の内容は次のとおりです。

9 ページに亘る長い説明内容をそのまま記載します。

(斜体字の部分が原田氏の説明)

セブンシーズは、子会社 42 社、基盤は雑誌である。メインは、金融と不動産である。

ザイオンという会社がある。代表が代わる。川島が社長になる。株価は現在 20 万円位である。

これはターゲットファンドというものであり株価を上げていく自身がある。こういうものを自信満々でやっているのは我々ぐらいのものだ。ザイオンは、5 倍 10 倍で上がっていく。

海外のファンドもやっている。海外でカードを作って自由に使ってもらう。税金のかからない方法を考えている。

ターゲットファンドという投資ファンドは期間は 3 年位で仕上げる。最高で 5 倍 10 倍になっているものもある。

海外でフィーを受け取っている。そのために海外に口座を作ってもらう。

もうザイオンは終わってしまったが、国際金融の中で案件はある。1 カ月 10% から 30% の利回りがあるものもある。売りも買いも銀行が保証してくれる。外資の銀行である。日本の銀行は保証してくれない。

3 月いっぱいまでの期間で投資をして欲しいという案件がある。クレジットライン

と言うものを引いてパークレー銀行が運用する。一億ポンドのクレジットラインが引かれている。保険をかけている。今回の話はその保険料に充てる分の投資の話だ。

私は、20歳位から不動産をやっている。その後投資ファンドを始めた。別の会社の取締役もやっている。今は取締役ではない。今度取締役になる。バージンアイランドで会社を作りその取締役になる。バージンアイランド籍でシンガポールに会社があり、支店が東京の銀座にある。

25日前までに投資して欲しい。3月から4月までが期間なので……。

私が60%のこの会社の株を持っている。この会社が600億近いクレジットラインを持っている。

メンバーに原田、太田、本田が入っている。グローバルゲートウェイと言う会社である。書類はブローカーに入ったら大変なことになる。トラブルのもとになるので気をつけなければならない。

投資のリスクについては、今までうまくいかなかったことはない。投資に失敗したとしても他の資産を売却してでも支払をする。

私が今役員として公に名前が出せないのは、廣濟堂、ダイナシティ、セブンシーズ、との関係があるためネットでは役員としての名前は出てこない。いや出して欲しくないためである。実は、廣濟堂は、原田私自身が投資をしている。名前を出せない理由がある。利益相反になるからだ。

7階に恩田とザイオンの社長がいる。

投資をするのであれば個人保証してもかまわない。

と言う内容の話だった。

2007年1月11日にセブンシーズの2階の応接室にて紹介者2名と他投資家1名が参加し2回目の説明を受けた。

内容は次のとおりです。

2006年5月ころより一部上場の廣濟堂を手掛けている。売却を任されている。

国際金融をやっている。この仕事で失敗した、逃げてしまった、嘘話だった、と言う話はまったくない。セブンシーズは2部上場の会社である。このプロジェクトに参加して儲けてもらう。我々には信用枠が与えられており、それでクレジットラインを引いて、会社にHSBCからクレジットラインが引けましたよと確認が取れて、初めてこのことがわかった方がいいと思う。その時に実感をしてもらいた

い。1億ドルで100億円のクレジットラインを引く。運用のためにお使い下さいと言う話である。パークレー銀行は、月5%の利回りが出ますという話がある。我々の会長である村上ファンドの村上世彰氏はこれで儲けている。皆さんはバージンアイランドの会社の役員になってもらい株式も保有してもらおう。

私は、詐欺師ではない。逃げも隠れもしない。

この投資の話について、金額の全額は保証したくない。半分はリスクを取って欲しい。

この運用に関してサイン権のある人が運用の指示が出来るため急に海外に向くことが出てくる。そのため身軽な人でないといけない。

確実に100億円のクレジットラインを引いてさし上げますよ。確実に。ユニバーサル、シェルのようにダイレクトにこのビジネスが出来る。ヨーロッパの財閥、インドネシアの財閥、香港の財閥、ユダヤもいる。みんなこれらは仲間である。パームオイルの世界のトップシェアを誇る財閥がクレジットラインで貸し出しをしたいという話がある。現金預金しているものを担保提供してくれたものでクレジットラインを引いてくれる。貸し出しだから皆様に保険代を払って下さいというだけである。自動的に配当金は個人のアカウントに入る。億単位の配当金をプライベートバンクのアカウントに入る。これをするのにあたり国際弁護士の推薦状が必要になる。私が推薦しますので。バージンアイランドの国王に対して推薦しなければならない。また、FRBに寄付をしなければならない義務がある。国際金融をする人は罪がある人、ヤクザ、右翼、テロ組織は駄目。資金の使い道も聞かれる。こんなにお金が入ったのに何に使うのですか。ロケット爆弾でも買うのですか、というように言われる。家、マンションでも買われるのであればいい。こういうことについては、日本は公安が仕切っている。アメリカはFBIが仕切っている。プログラムは1週間単位のものもあれば1年間の運用期間のものもある。我々のノウハウだから出来る。

ザイオンは10数億円入れた。1株20万円でも儲かる。ターゲットファンドを仕掛けている。組成をして儲けているのは我々である。いくら出したってすぐ戻ってくる。

このプログラムの配当はその後皆さんに均等に出す。均等の方がいいのではないか。プログラムは週単位で違う。このぐらい出していただければこれだけのクレジットラインが引けますよと言う話である。

配当は年末の運用が良い。月400%で回る。信じられない。今は話は十分の一として聞いておけばいい。一回目の配当金が入ってからわかると思う。100億円ならば月10億円入る。その時本当か嘘かわかるでしょう。そのお金をだますためにやっているわけではない。別にお願ひしてお預かりするような話では

ない。吉田さんの紹介なので、お預けになってその後、気が変わって戻してくれと言われればいつでも戻してあげても結構ですよ。その代わり戻した時点で運用益は一銭も支払いませんよ。昨年9500ドル送金してある。1億ドルのクレジットラインがあり、バージンアイランド籍のシンガポールである。早急にやればやる程、早く配当金が受け取れる。1月末に送金し2月に運用をする。やめたいとしたら返金も出来る。

1年がスキームである。税金対策としてバージンアイランドに口座を作る。ファイナンスをして貸付も出来る。我々はノウハウを持っている。海外口座を作りカードを持ち、10億円の買い物も出来る。これは銀行が発行するカードである。バージンアイランド、シンガポールの会社のカードである。ホールスベイホールディングという会社とするならば1億円も切れる。ジェット機も買える。クレジットで信用枠が取れる。

帝国ホテルでパーティをやるので見ていただければわかる。この仕事仲間は多い。仲間では、なだ万の常務もやっている。なだ万は、何かを買収する資金として役員に1億円の枠がある。私は、帝国ホテルのタワーの6階に事務所を持っている。帝国は格式が高いので100億円持っても入居できない。なだ万の常務が私の保証人になって欲しいと言えはなりますよ。私のことをよく知っていますので。

私が投資家を紹介する。リスクを背負う。

プログラムの最低単位は5,000万円 1 ロット120億円。バージンアイランド籍で口座を作るために香港かシンガポールへ行けますか。

この会社を使って何か悪いことをするかということであればそうすれば公安が動いてくる。変なことは出来ない。同じ会社ではやらない。リスクを分散するためである。パークレー銀行の本店から現金預金の担保提供をしましたと言う書類がちゃんと送られてくる。

今までに1億ポンドが3本、1億ドルが2本やっている。今は半信半疑でいい。パークレー銀行の契約に立ち会うことも出来る。パークレー銀行にこの会社はいくらのクレジットラインが引かれているか聞いても教えてくれません。

セキュリティがかかっているので安心です。バンク to バンクの取引である。銀行から銀行に入ってくる。これが基本である。どの運用会社でどういう運用をするのかである。太田から連絡が入り状況が確認できる。サイン権は我々の仲間から選ぶ。

各国の財閥の協力がある。インドネシアのハーマンタンカーさんは、中国にも進出している。タンカーを持っている。金を出して運用している。

このプログラムを実行するためにNDA(秘密保持契約)を交わす。

我々は、運用会社としては最下位である。びりである。そのランクを高めて行き、

格付けを取っていくことが必要だ。あらゆる人たちから資金を預かるためにリスクを先に取った。そのときに協力をしてくれたのが村上さんだ。どんなに騒がれても我々の会長です。今でも20%の株は持っている。セブンシーズのトップは皆同級生。セブンシーズは120年の歴史がある。前に私はファンドマネージャーやっていた。このアセットマネジメントの事業部を預かって国際金融を始めた。スタッフ5人で。

私の人脈は、甘粕正彦大尉という満州国建設に一役を買った人の親族で甘粕よしのという女性がおり横浜の西口にあるオカダヤモアのビルを所有している。15%夢玄館の株式を保有している。

インドネシアのハーマンタンカーさんに対し、リスクを取っていき、金を打っていくことが必要。リスクを取ったおかげで外国の投資家と知り合えた。私は、ダビンチアドバイザー、リーマンブラザーとも個人的に親しい。

私は、38歳である。

運用は我々とパークレー銀行とする。何に使うかは聞かない。1週間で400%で回せます。三菱東京UFJはこのことを行っている。しかしわからない。日本の銀行は保守的であり閉鎖的だ。こんな国は他にはない。理解できないから理解しなくて良い。

アメリカ合衆国大統領株がある。1週間で700%で回る。100億円が700億円になる。何百パーセントと言うのは当たり前。こんな私のような若僧のところにGRE?が人をだましにくるか。NYのドラマパートナーズ?のファンドマネージャーや社長が人をだましにこない。

たとえ10万円だましたとしたら一生付きまとわれる。

100億円の規模でいい。ハーマンタンカーさんは7,000億円持っている。1週間ごとに増えている。インドネシアの軍から政府を押さえている。大金持ち。パームオイル、タンカーを何十隻も持っている。この間も中国で買ってました。

1億ポンドの分は終わっている。あと3本ある。もうあくせくしてやらなくてもいい。皆さんが作る会社の資金が入ってくる。シンガポールか香港に口座を作ることである。その時香港の財閥に合わせてあげる。本物の香港財閥です。PCGのリーさんに会えば分かります。墓石ではトップ。パイさんとリーさんは中国では石をやっている人として有名。この二人は我々の会長になってもらっている。ロイヤルドラゴンという会社が香港にあって、会長は、パイさんとリーさんである。我々を信用しているから。悪いときでも月に20%から30%で回る。月に10億円が入ってくる。そして儲けた一部は寄付する。FRBに寄付をする。これは縁なのです。ヤクザのお金は預かれない。私は、前科はない。秘書や運転手はいるんですよ。不義理、約束を破ったりはしない。

昨年タンカーさんに個人口座に9,500ドル振り込んでいます。それが1億ドルの

クレジットラインなんですよ。それをこちらに使ってもいいと思っている。タイミング的にもいい。そのクレジットラインを今回の会社に移し変えようと思っている。ホールスベイのクレジットラインを皆様が作った会社にそれがそのまま移行できますから。それが一番最短です。半分の運用はタンカーさんに行ってしまう。一度入ったらやめられない。皆さんが他の人に言っても信じない。言う必要もない。皆がスタッフで役員としてやって行くのがいい。

ターゲットファンドは上場会社の社長も資金を入れてくれるので心配はない。5,000万円位でいいのではないかと。いつまでにいくら作れますと言ってくれればいい。

シティバンクの渋谷支店は24時間やっている。情報はそういうところに入るののでこの仲間だけにとどめて欲しい。

タンカーさんは金塊の塊を持っている。売りにかけている。

帝国ホテルで今度パーティがあったら招待する。サンマリノ大使も紹介する。

私自身の会社コンカドールは私の会社である。24件レストランやっている。上場目指している。来年上場する。株式はブックオフ、テンポスバスター他有名な会社が株主である。1ヶ月1,700万円売り上げる。チョコレートは三越本店に入っている。

セキュリティは帝国ホテルは万全。1億円の宝石の保険料は少なくていい。コンカドールは東海放送、大塚家具他株主だ。イタリアのブティの時計も買収した。

帝国と三越は切っても切れない縁である。帝国ホテルに入っているのは全部大金持ちである。

廣済堂の桜井さんは死んだ。相続もお手伝いした。桧山さんが会長だ。

と言う内容だった。

私は、ここまでの話を聞いて資金を預ける気になった。

2007年1月18日にセヴンシーズの原田勝美の役員室で契約を交わす。そのときの内容は次のとおりです。紹介者2名と他投資家1名です。

会社を解散したらお金は返金される。スティーブというイタリア人がシンガポールで今回のプログラムの手続きしている。私は蒲田が実家。駒澤大学中退である。

夢玄館は、妻がつけた名前です。年50棟から80棟やっている。相続とかの相談が多い。

女房、子供はクリスチャンであり、子供は中学2年生である。  
セブンシーズはホテルにも投資している。  
ターゲットファンドを組成する。3ヶ月か1年の期間で仕上げる。引き受け手がいる。儲かった資金で投資してください。最高10倍になる。  
サイン権を持つのは太田か恩田かもしれない。サイン権を持ってもらう。シンガポールの株を持ってもらう。名刺も持ってもらう。  
ハーマンタンカーさんは謙虚な人です。  
セブンシーズの40社は全部黒字です。編集長は全部個性的です。セブンシーズも買うのなら今だ。ダビンチアドバイザーと資本提携する。  
ホールスベイホールディングの本体の責任者である太田がいる。  
グローバルゲートウェイと言う会社である。東銀座の10階に会社がある。きれいににお金儲けをしている。  
私の資産は、国内に3億円あり、海外には数億円は持っている。  
このプログラムをやるとするならばリスクと緊張化は持って欲しい。  
HSBC証券?の山口さんも知り合いである。  
日本のブティージャパンは私が買収した。1億何千万円かは帝国のタワーの6階にある。チョコレートもブティも分社していく。  
1月28日がシンガポールへの出発ではいかがか。  
今回入れるのはクレジットラインの諸経費のお金である。1億ポンドか1億ドルのクレジットラインを引くための契約。これで4本目である。  
クレディスイスは1ヶ月60%の運用だった。  
運用はそれぞれの運用プログラムによる。  
おそらくポンドになる。  
イタリア人のスティーブの父はクレディスイスに買収されたバンカーだ。彼はクレディスイスとパークレー銀行の担当である。このネットワークを生かしたい。  
来週また3本のプログラムが出てくる。それに皆様のクレジットラインを間に合わせたい。28日の週に会社が出来てくる。次の週に登記が上がってくる。サイン権は原田が持ちます。皆様とハーマンタンカーとの契約を交わす。タンカーさんが担保提供しますという契約を交わす。タンカーさんの契約はこれです。これはタンカーさんしか使えないレターヘッドです。8,000億円の預金から200億円か300億円の預金を積んでくれる。次にパークレー銀行からグローバルゲートウェイへ200億円カウントされます。初めて運用にかけられます。OKが出て来てプログラムが送られてくる。その時に600%なのか、100%なのか、あるいは20%かもしれない。20%なら次のプログラムを待つ。クレディスイスがボストンから送ってくるものは同じものが送られてくる。200%ならば半分の半分が我々の配当だ。その配当金の配分は弁護士を入れて契約書を作成す

る。その配当金が出たならば個人の口座を開設し、そしてプライベートバンクの口座に切り替えて欲しい。その後1年間だけ待ってもら。配当が1年、1ヶ月、1週間のものもありプログラムによる。何のプログラムに乗せるかは書いていない。銀行任せにしているから何で運用してこうなったかは銀行は言わない。テロ資金、麻薬商人が名前を運ねてきたことがあった。それは乗せられない。その場合は資金は返金されない。アメリカが絡んでくる。一人でも理解してくれない人がいたならば、運用にかけられない。まず1週間やってみよう。そして本当に入ったならば1年間やってみよう。30%のうち5%をくれと銀行が言ってきたことがある。実際は18%だったから銀行はその後言ってこなかった。今後はボランティア活動をしてせかせかしなくてよい。シンガポールに会社を作ったことも言わないこと。エリートアドバンス?をやっている。11億円扱っている。資金を日本からバージンアイランドに送っている。日本の投資案件がある。1億円が5億円になる。それをまた投資する。いろいろな通貨を持っている。ドバイに資金を持っている人もいる。これらについて法的な根拠のあるものが今後出てくる。ほとんどのスタッフと顔を合わせる事になる。タンカーさんに報告する必要がある。ポンドなら500億円の枠が取れる。それ以上の1,000億円の枠が取れるものもある。それは交渉次第だ。リスクを取る人は主張する権利がある。

私は、この時点で秘密保持契約書にサインをし2500万円を現金で渡した。契約書の相手方の名義は、株式会社夢玄館。元金の返済日は3ヵ月後の4月18日だった。

2月4日シンガポール出発。2月7日成田着で決まった。

以下更に説明が続く

FRBは全世界の金融を仕切っている。世界の数十箇所。世界を意識的に守っている。日本は国連に三分の一のお金を出している。日本は大きく係わっている。戦争のときは運用プログラムが一番いい。特に湾岸戦争のときは1週間で700%になった。

運用で立会いたい人はいますか。パークレー銀行です。  
本物と言うものはなかなかない。インドネシア、香港にはある。自分ひとりでは何も出来ない。  
600億円から1,000億円の仕事をインドネシア政府としている。何兆円も持っている。  
三菱東京UFJ銀行ではやっている。特別な部屋がある。残高証明を頂ければそれが出来る。40週間動かさなければOKだ。  
コマーシャルLC?、バンクギャランティ?、スタンドバイLC?などの運用が出来る。  
スタンドバイLC1億円を8,000万円割引できる。2,000万円がわずか3日間で儲けられる。  
タンカーさんはお金を持っている。数千億円は持っている。  
マスマチュアル生命は華僑の保険会社である。ルーと言う責任者は中国人で私の担当者である。給料は1億円取っている。今度時間が合ったら紹介しますよ。

契約終了      正式な預り書は明日渡すということになった。